資料6

「八王子市安全・安心まちづくりのための防犯対策方針」の改定(案)について

令和8年(2026年)7月7日
八王子市生活安全対策協議会
生活安全部　暮らしの安全課

1　本日の目的

方針改定の背景

- 本市では、「八王子市安全・安心まちづくりのための防犯対策方針」に基づき、本市における犯罪防止対策に取り組んできました。
- 刑法犯認知件数は、ピーク時（平成12年）の11,852件、現行方針策定時の平成26年の5,189件から令和7年は3,010件まで減少してきましたが、「匿名・流動型犯罪グループ」による、一般市民を標的とした強盗事件等により、市民の体感治安は悪化しています。
- 令和6年の市政世論調査で防犯対策が市政への要望で1位となり、防犯施策への期待が高まっている。
- こうした社会情勢や犯罪動向の変化を踏まえ、実効性のある防犯対策を実施するため、方針を改定いたします。

八王子市内 刑法犯認知件数



出典：警視庁ホームページより作成（令和8年6月18日時点）

「あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか？」

（%）

順位＼年	令和7年（2025年）	令和6年（2024年）	令和5年（2023年）	令和4年（2022年）	令和3年（2021年）
第1位	高齢者福祉（28.1）	防犯対策（28.7）	高齢者福祉（34.3）	高齢者福祉（30.4）	高齢者福祉（31.7）
第2位	防災・減災対策 防犯対策（24.0）	高齢者福祉（27.3）	保健・医療（22.3）	防災・減災対策（26.5）	防災・減災対策（24.8）
第3位		防災・減災対策（27.0）	防災・減災対策 / 子ども・子育て支援（21.5）	保健・医療（20.7）	保健・医療（21.8）
第4位	保健・医療（22.4）	子ども・子育て支援（21.7）		環境の保全（17.3）	環境の保全（18.3）
第5位	子ども・子育て支援（20.7）	保健・医療（21.1）	環境の保全（17.6）	子ども・子育て支援（16.6）	子ども・子育て支援（17.8）
第6位	環境の保全（16.0）	環境の保全（15.0）	防犯対策（15.8）	防犯対策（13.4）	防犯対策（17.1）
第7位	交通機関・駐車場の整備（13.1）	交通機関・駐車場の整備（13.5）	暮らしの相談・支援（11.6）	中心市街地活性化、商業振興（11.3）	道路整備（11.5）
第8位	道路整備（11.5）	道路整備（11.8）	道路整備（10.2）	暮らしの相談・支援（10.6）	暮らしの相談・支援（10.1）
第9位	暮らしの相談・支援（11.2）	暮らしの相談・支援（10.9）	交通機関・駐車場の整備（10.0）	道路整備（10.2）	中心市街地活性化、商業振興（9.9）
第10位	学校教育（9.0）	中心市街地活性化、商業振興（10.3）	中心市街地活性化、商業振興（9.5）	交通機関・駐車場の整備（9.8）	学校教育（9.2）

出典：令和7年（2025年）市政世論調査結果「市政への要望」

今回の改定では、より実効性の高い防犯施策を構築するため、地域の安全を支えている皆様のご意見を伺い、方針の実効性を高めていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

2　現行方針の概要について

現行方針の概要

背景

- 平成15年　八王子市生活の安全・安心に関する条例 施行
- 平成16年　八王子市安全・安心まちづくり指針 策定

↓ 改定

- 平成26年　八王子市安全・安心まちづくりのための防犯対策方針 策定（現行方針）

基本方針

市民・防犯団体・事業者・市・警察が主体的に進めている安全・安心のまちづくりの取り組みを尊重しつつ、犯罪防止のため、以下の4つの施策の展開に基づき、八王子市が担う役割を明確にすることで、より効果的・総合的な活動に発展させる。

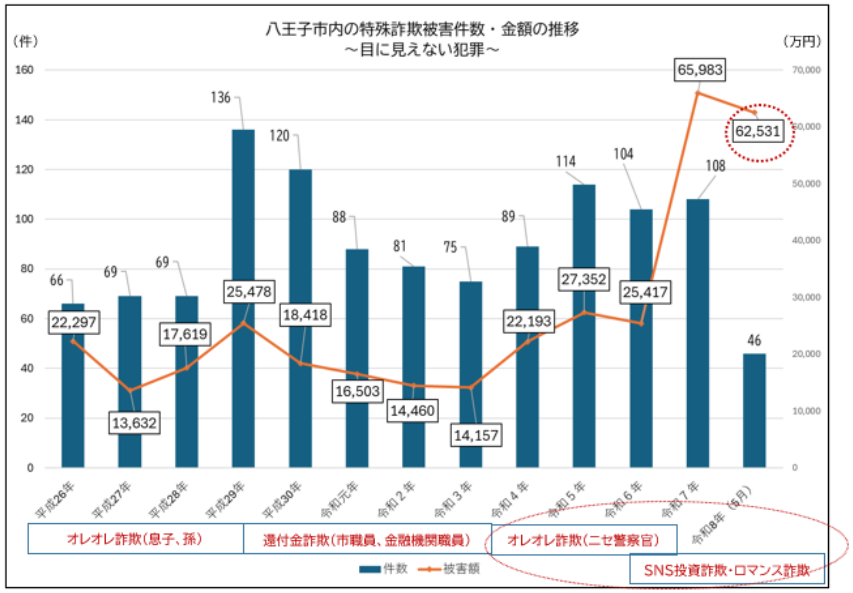
施策の展開	(1) 生活安全対策の充実	① 生活環境	住宅・店舗における防犯対策、防犯カメラの設置等	22施策
		② 高齢者	振り込め詐欺や勧誘電話被害の防止	5施策
		③ 子ども	学校、通学路の安全確保	17施策
		④ 青少年	青少年育成指導員による巡回、指導	7施策
		⑤ その他の安全対策	悪質商法被害防止、DV・ストーカーの被害者支援	3施策
	(2)地域の防犯体制の充実		町会・自治会に対する支援	5施策
	(3)防犯意識の向上		防犯講習会の促進、啓発イベント、防犯情報の提供	8施策
	(4)暴力団排除の推進		講習会の開催	3施策

取組評価

- 防犯に配慮した建物の普及や道路・公園の見通しの確保、町会等による防犯カメラ設置が進み、犯罪が起きにくい地域環境の整備が進展した。
- 地域団体との協働や警察との連携強化により、見守り体制が充実し、防犯力が向上した。

3　社会情勢の変化について

① インターネット等を悪用した犯罪について

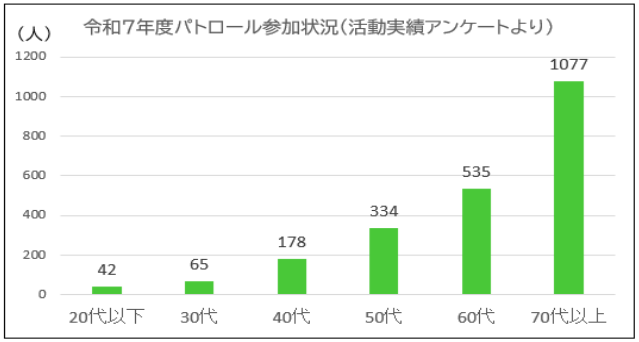


出典：市内3警察署からの提供データ（令和8年6月18日時点）

② 地域防犯活動の担い手の減少について

年度	団体数	参加者数
平成25(2013)年度	145団体	4,081人
	33%減	51%減
令和7（2025)年度	97団体	2,002人

防犯パトロール参加団体・参加者数（ボランティア保険実績より）令和8年6月18日時点



③ 孤独・孤立や貧困による生きづらさが生む世代を超えた負の連鎖

生きづらさ

- 孤独・孤立 貧困
- 居場所がない 相談相手がいない
- 心理的不安 経済的不安
- 非行・犯罪 薬物依存等
- 再非行 再犯

4　改定方針の方向性について

基本方針

市民・防犯団体・事業者・市・警察が主体的に進めている安全・安心のまちづくりの取り組みを尊重しつつ、
犯罪防止のため、以下の5つの重点課題に基づいた施策を展開し、八王子市が担う役割を明確にすることで、
より効果的・総合的な活動に発展させる。

重点課題

現行方針を継承

ハード面

- 重点課題1　防犯環境の整備

ソフト面

- 重点課題2　地域の防犯体制の強化
- 重点課題3　防犯意識の向上

新方針で強化

対策強化

- 重点課題4　インターネット等を悪用した犯罪対策の強化

支援推進

- 重点課題5　包摂的支援の推進

施策の方向性

★本日の目的

5つの重点課題に対する施策の方向性について、
委員の皆様からご意見を伺いたいです。

5　重点課題に対応する施策の方向性①

重点課題1　防犯環境の整備

防犯性の高い住宅・建物の啓発、防犯カメラの普及促進、夜間の照度確保、公共施設の防犯性向上、空き家の適切な管理など、犯罪を未然に防ぐ環境づくりを進めるものです。

☐ 現状

・住宅・建物の防犯配慮が徐々に広がりつつあり、意識の高まりが見られる。
・**防犯カメラの整備は着実に進展し、犯罪抑止に寄与している。**
・防犯灯の整備が進み、夜間の安心感向上に寄与している。
・道路、公園など公共施設の安全性向上に向けた取組が進んでいる。
・空き家対策が進んでいる。
・地域・警察・行政の連携が進んでいる。

町会等による防犯カメラ設置数

年度	団体数	設置数	備考
H26	1	3	独自設置（補助金活用なし）
R7	94	228	独自設置＋補助金活用設置

☐ 課題

・住宅・建物の防犯性向上に向けた啓発をさらに充実させる余地がある。
・**防犯カメラの整備を、地域のニーズに応じてより計画的に進めることが期待される。**
・道路、公園など公共施設の防犯性向上に向けて、計画的な取組を進めていく。
・空き家の適切な管理をさらに進めていく。
・地域・警察・行政の連携を強化することで、環境改善の効果をより高められる。

☐ 施策の方向性（案）

・防犯カメラの活用、夜間の照度確保、公共空間の安全性向上など、犯罪機会を減らす環境整備を推進する。
・犯罪を未然に防ぐため、地域の防犯環境を計画的に向上させる。

5　重点課題に対応する施策の方向性②

重点課題2　地域の防犯体制の強化

自主防犯活動の支援、防犯リーダーの養成、地域コミュニティ意識の向上、
子どもを守る取組など、地域の力を高める施策です。

☐ 現状

・**地域の自主防犯活動が着実に広がっているが、活動団体や参加者数が減少している。**

・**防犯パトロールの担い手が偏っており、70代以上の方に依存している。**

・防犯リーダー講習会などを通じて、地域の担い手育成が進み、活動の質が向上している。

・わんわんパトロールの実施など、防犯パトロールが多様化している。

年度	団体数	参加者数
平成25(2013)年度	145団体	4,081人
	33%減	51%減
令和7（2025)年度	97団体	2,002人

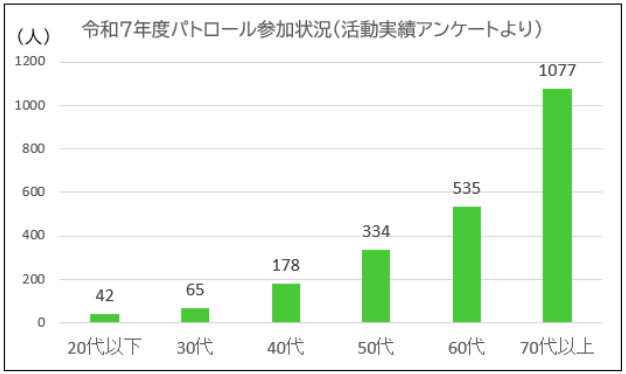
防犯パトロール参加団体・参加者数（ボランティア保険実績より）令和8年6月18日時点

☐ 課題

・**自主防犯活動支援を行うとともに、若者の地域防犯活動への参加を促進させることで、地域の防犯体制を強化する。**

・防犯リーダーの役割をより明確にし、地域全体に広げることで、活動の効果を高められる。

・**大学や企業などと連携した取組を強化する。**



☐ 施策の方向性（案）

・地域の見守り力を高めるため、自主防犯活動の支援や防犯リーダーの育成を進める。

・大学、企業等と連携した防犯活動を促進し、幅広い世代の人たちが防犯パトロールに参加する持続的な防犯体制を構築する。

5　重点課題に対応する施策の方向性③

重点課題3　防犯意識の向上

警察等と連携した情報提供、家庭・学校での防犯教育、最新の犯罪手口の周知など、個人の防犯力を高める施策です。

☐ 現状

・防犯情報の収集・提供が広がり、**警察との連携によるメール配信サービスなどが定着**している。

・大学等、多様な主体が防犯キャンペーンや啓発活動を実施する動きが広がっている。

・個人の防犯意識の高まりを受け、**住まいの防犯対策補助金を実施**している。

・地域の防犯意識が高まっており、**出前講座の実施回数が増加**傾向にある。

出前講座の実施回数

年度	R3	R4	R5	R6	R7
実施回数	2	5	5	11	16



大学での出前講座


町会・自治会での出前講座

☐ 課題

・犯罪の手口が広がっているため、**世代に応じた防犯情報の収集・提供が必要。**

・大学・企業など、多様な主体とのさらなる連携強化が必要。

・家庭・学校での防犯教育をより体系的に進めることで、子どもたちの安全意識をさらに高めていくことが必要。

・変化の激しい犯罪動向に対応するため、**最新の犯罪手口の継続的な周知**が必要。

☐ 施策の方向性（案）

・市民一人ひとりが犯罪から身を守れるよう、防犯情報の提供や教育を充実させる。

・最新の犯罪手口への理解を促し、家庭・学校・地域での防犯意識を高める。

5　重点課題に対応する施策の方向性④

重点課題4　インターネット等を悪用した犯罪対策の強化

特殊詐欺やサイバー犯罪、闇バイト教育など、現代的な犯罪への対策を強化するものです。

□ 現状

・**特殊詐欺への注意喚起が広がり、警察や学校と連携した啓発が進んでいる。**
・声かけ事案など、犯罪の前兆と捉えられる事案の情報共有が進み、地域での見守り意識が高まっている。
・学校では闇バイトやSNS犯罪に関する教育が進み、生徒の危機意識が向上している。
・暴力排除に向けた地域の取組が広がっており、暴力団員数も減少傾向にある。

□ 課題

・**特殊詐欺の形がSNSやAIを悪用したもの変化しており、対策をさらに強化することが必要。**
・**被害者の年齢層が幅広くなっており、性別年齢問わず、被害防止対策が必要。**
・闇バイト等による広域強盗事件の影響などにより、市民の体感治安が悪化している。
・学校での闇バイト・SNS犯罪教育を、より実践的な内容にすることで、子どもたちの防犯力をさらに高められる。

□ 施策の方向性（案）

・特殊詐欺やSNS犯罪など、現代的な犯罪への対策を強化する。
・警察、学校との連携を通じて、若年層から高齢者まで幅広い層の被害防止を図る。

5　重点課題に対応する施策の方向性⑤

重点課題5　包摂的支援の推進

相談支援の強化、居場所づくり、関係機関・団体と連携した支援体制の構築等、再犯防止を含む包摂的な支援を進めるものです。

☐ 現状

・**第2次八王子市再犯防止推進計画を策定**し、取組を進めている。
・**犯罪の加害・被害の双方に対する支援の重要性が認識され始めている。**
・地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制整備事業の取組が進んでいる。
・**居場所づくりや交流の場が広がり、孤立防止に向けた地域の取組が進み始めている。**
・ 子ども食堂、地域サロン、若者支援拠点など、地域のつながりを生む活動が増えている。

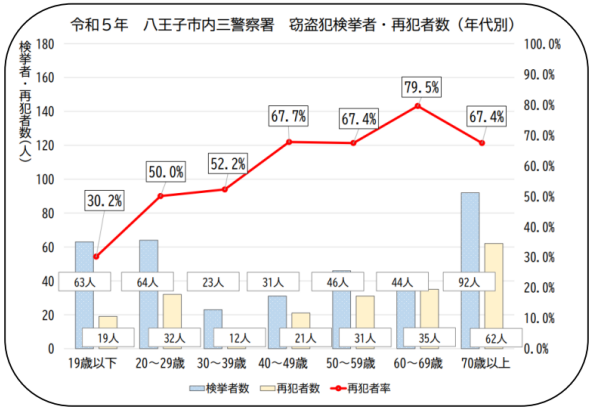


☐ 課題

・地域社会への再犯防止の理解促進を広めていく必要がある。
・**孤立を防ぐため、地域での居場所づくりをさらに広げていく。**
・支援につながりにくい再犯リスクの高い人を早期に支援につなげる。
・**加害・被害の双方に対する支援を強化することで、再犯の芽を早期に摘み、地域の安全性を高めていくことが必要。**
・官民連携をより体系的に進めることで、孤立、経済困難、家庭問題を包括的に支援する。

☐ 施策の方向性（案）

・困難を抱える人への相談支援や居場所づくりを進め、孤立の防止と再犯防止につなげる。
・関係機関、団体との連携による包括的な支援体制を構築し、加害・被害の双方に対する支援を強化する。



出典：八王子市第2次再犯防止推進計画（令和7年4月）